

三春ダムの特徴

No.20 水質試験



水質試験

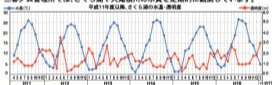


三春ダムでは、富栄養化による植物プランクトンの異常増殖を防ぐため、様々な水質保全対策を実施しています。前回までに紹介した、前貯水池、流入水バイパス管、浅層曝気、深層曝気等の他、東北では唯一管理所内に水質試験室を設置し、さくら湖の異常に対し水質検査を実施し、水質異常時に対応できる体制をとっております。また、年間を通して定期的に水質試験を行っており、時には水の張ったさくら湖にボートを出し採水を行なうこともあります。

◀ボートによる採水

水質の状況 (平成17年1月1日現在)

三春ダム管理所では、さくら湖や大滝根川の水質を定期的に観測しています。



■COD(化学的酸素消費量)
コイノサが生育するためには25mg/l以上が適当とされています。
実地平均値



■BOD(生物化学的酸素消費量)
大滝根川で30mg/l以下とされています。
また、コイノサが生育するためには5mg/l以下が適当とされています。



■総窒素
一般に窒素が1mg/l以上であると富栄養化すると言われています。



■窒リン
一般にリンが0.02mg/l以上であると富栄養化すると言われています。

三春ダムからのお知らせ

三春ダムでは、皆様のご意見や情報の提供をおまわしています。
郵便またはFAXで 〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
国土交通省 三春ダム管理所 FAX0247-62-3170

■インターネットでも、さくら湖だより・さくら湖管理ニュースを見ることができます。
ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>



■郡山東1.Cから車で約15分
■郡山駅から車で約20分
■三春駅から車で約10分

お願い

ダム下流での釣り、水遊びなど河川利用される方は、気象情報・放流情報に充分注意をお願いします。